

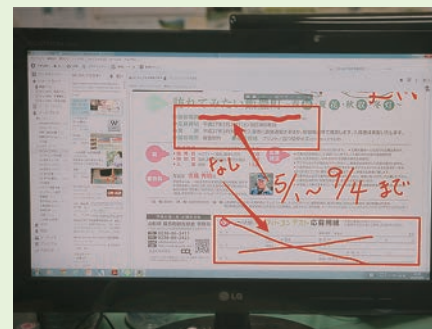
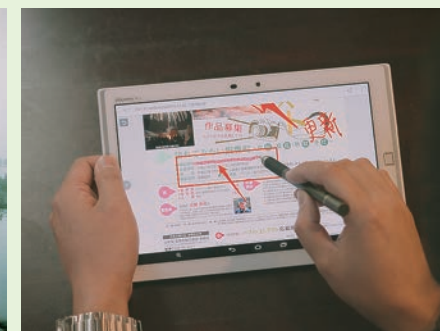


情報共有が広がれば 仕事は速く、楽しくなる

山形県飯豊町観光協会様

四季折々の自然が織りなす風景を
たくさんの人に楽しんでほしい——
小さな町で奮闘する若者たちの
チーム力を最大化するツールとは。

使用しているサービス&ソリューション



少人数で、とにかく効率よく仕事を進めたかった。

春と夏には緑の稲穂が風になびき、秋には黄金色に輝く田園風景。冬になれば白銀の世界が広がる山形県飯豊町は、一年を通じて日本の原風景ともいえる自然の豊かさを実感できる町だ。「ここは疲れた心と身体を癒やすのにぴったりの場所じゃないでしょうか。広い田んぼの中に住居が散在する田園散居集落、うまい米と雪解け水で仕込まれたどぶろくが、この町の名物です」と飯豊町観光協会事務局の竹田直人氏はアピールする。

ローカル線の駅舎も兼ねている同観光協会の事務所では、竹田氏をはじめ地元出身の若者たちが日々いそがしく働いている。「観光イベント

やキャンペーン、旅行代理店への営業、パンフレット製作など仕事は山ほどあります。スタッフは5人以下と小規模なので、とにかく効率よく仕事を進めなければならないのですが、以前は紙ベースでの作業が中心だったため、情報共有がなかなかできずに悩んでいました。旅行代理店から電話があっても“担当者がいないので折り返しご連絡します”としか言えないのはつらかったですね」と竹田氏は振り返る。その解決策として選ばれたのが「Evernote Business」だ。「たがいの仕事の中身がすべて見えるようになったため、業務効率が上がり、レスポンスが一気に速くなりました」。

Before

紙ベースでは効率が悪く、タイムラグや支障が出る業務もあった



FAXを使った校正作業は、文字や画像がつぶれて分かりにくいなど制約も多く、効率が悪かった。

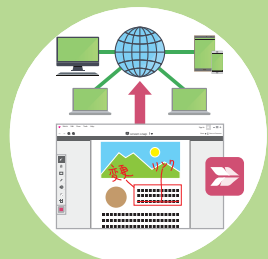


添付ファイルが重いメールは「送れない」「受信・表示に時間がかかる」等の問題があった。



After

「Evernote Business」で情報のスピーディな伝達・共有が可能に



PDFに図形や文字を書き込めるSketchを使って修正指示の注釈を付け、ファイル共有すればOK。



デジタル化した紙資料のほか、写真や動画などもノートに入れておけば送信・共有がスムーズに。

観光パンフレットの校正は、これまでメールで送付されたPDFファイルをプリントアウトし、手書きで朱字を入れて回覧したものをFAXで送り返していた。FAXでは写真の細かいニュアンスや手書きの修正指示が分かりにくいこともあり、電話でたがいに再確認するケースが多々あった。

代理店や町役場との書類のやりとりも、一定数が集まってから直接持参していたため、確認作業や承認にタイムラグが発生して効率が悪かった。また情報をメールで送る際も、写真などの添付ファイルが重いと相手に迷惑がかかることが悩みだった。

Evernoteの導入後、FAXや郵便で送られてくる申込書やカタログ、名刺などすべての紙資料は、ScanSnap Evernote Edition スキャナ*でデジタル化し、クラウドで共有するのが基本となった。パンフレットの校正には、メールで送られてきた校正用PDFに、そのまま修正指示を書き込める「Sketch」が活用されている。情報ファイルのやりとりは、Evernoteで作成したノートに料金表や写真、動画などを入れ、共有URLをメールで送る「URL共有機能」で解決した。情報がタイムリーに届くうえデータ量も軽く、相手に迷惑がかからない。

*オプション製品です。



「Evernote Businessは、
日本語サポートが安心なドコモでアップグレード」

事務局 竹田 直人氏

竹田氏は以前からEvernoteを個人的に使っていたが「どんな形式のファイルも取り込めるこの便利さを仕事にも活かしたい」と、日本語サポートが安心のドコモ経由でBusiness版にアップグレード。メンバー全員で情報共有できる機能が大きなメリットを生んでいる。「今まで個人個人で抱えていた仕事の内容を共有できるようになったことが最大の効果。担当者が不在でも問い合わせに対応でき、出張先でもタブレットで仕事が続けられる。次にすべきことを覚えておかなくても、Evernoteが代わりに記憶してくれているから安心です」と語るのは、同事務局の高橋達哉氏

だ。素速い対応と漏れない情報伝達で、取引先や町役場からの評価は一段と高まり、事務局内のコミュニケーションも活発になった。「Evernoteに『なんでも共有掲示板』を作り、たがいの仕事の進捗状況や気づき、話のネタをアップしています。読むたびに面白いアイデアがどんどん湧いて、仕事がさらに楽しくなりました」と竹田氏は喜ぶ。

今後は会員旅館や他地域の観光協会ともEvernoteで情報を共有し、観光振興・地域活性化につなげていきたいと、夢はさらに大きく膨らんでいく。